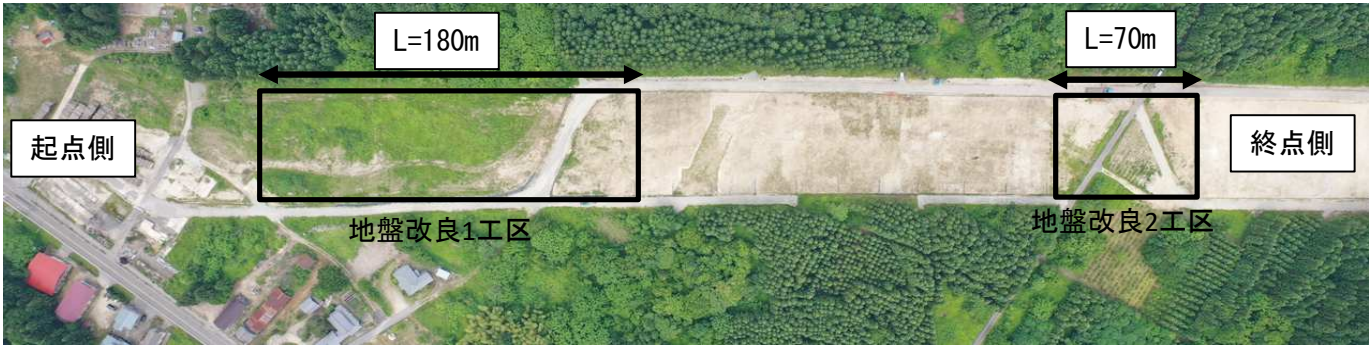


1	表題 (課題) 名	地盤改良 (中層混合処理) に伴う地中支障物の撤去について	
2	工事 (業務) 名	R3朝日温海道路 檜原地区改良その3工事	
3	受注者名	株式会社 廣瀬	
4	工 期	令和 3 年 5 月 26 日 ~ 令和 4 年 3 月 31 日	
5	担当技術者 (立場) 名	現場代理人	(やまざき さとる) 山崎 悟
6	担当主任監督 (調査) 員	村上出張所長	
7	課題区分名	⑤施工管理	
8	工事 (業務) 概要	朝日温海道路の形成に伴う道路部の地盤改良およびプレキャストボックスカルバートの設置。	
9	【施工における 課題・問題点 等】		
当工事はパワーブレンダー工法による地盤改良が主要工種であり、朝日温海道路の盛土部を改良厚さ1.0mにて地盤改良する内容である。 しかし、室内配合試験に伴う事前調査のため、改良範囲内において試掘作業を行った結果、木根、礫石、コンクリート殻、石材等が改良範囲内のいたる所に埋まっていることが判明した。 地盤改良の施工をするにあたり、地中に支障物が存在する状態ではトレンチャーのチェーンが破損し、部品の交換や取替え作業等が生じることが懸念されたため、地中にある支障物を全て取り除く必要性があった。			
10	【実 施 内 容】		
バックホウにスケルトンバケットを装着させ、改良範囲内の支障物撤去を行った。 撤去する深さについては最低限、設計の改良厚1mを満たすよう支障物撤去を行うものとした。			
3台体制による支障物撤去  改良に支障が出る深度まで支障物撤去 			
			
11	【実 施 結 果】		
地盤改良に至るまでは以下の手順の通り施工を行った。 ①地中支障物の撤去 → ②地盤改良前の改良天端整地作業 → ③地盤改良 支障物の撤去作業に約1ヶ月の期間を有したが、事前に支障物を撤去したことによりブルドーザによる改良天端の敷均し・転圧も比較的スムーズに完了することができた。 また、地盤改良施工中におけるマシントラブルの発生もなく、予期せぬ工程のロスを未然に防ぎながら地盤改良を行うことができた。			

(様式—2)

【実 施 内 容 等】

地盤改良1工区



地盤改良2工区

